

新製品!!

IgG/IgM anti-HEV EIA

EIA法によるIgGまたはIgM抗HEV抗体検出用キット

人獣共通感染症であるE型肝炎はE型肝炎ウイルス(HEV)によって引き起こされますが、主に急性肝炎症状を呈し、感染症法において四類感染症に指定され、届出が義務づけられています。

HEVに感染するとHEVに対する抗体が産生されますが、E型肝炎の急性期にはIgM抗HEV抗体が患者血清中に出現し、発症後2~5ヶ月持続します。IgG抗HEV抗体はやや遅れて出現して長期間継続するため、現在または過去の感染の指標となります。

本キットは、IgG抗HEV抗体またはIgM抗HEV抗体をそれぞれ検出する試薬です。

使用目的

ヒト血清中のIgGまたはIgM抗HEV抗体の検出

特徴

- IgGまたはIgM抗HEV抗体を検出
- リコンビナントHEV抗原を使用
- 高い特異性と感度
- 15~30°C、静置反応の2ステップサンドイッチ法により測定
- 測定時間 約2.5時間

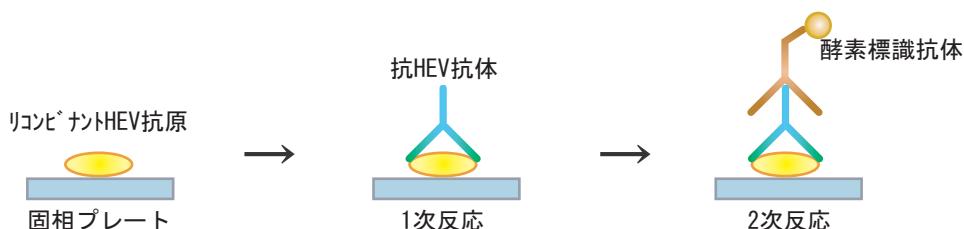
キット構成

1. HEV抗原固相プレート(8ウェル×12)	1枚
2. 陰性コントロール	0.5 mL 1本
3. IgG陽性コントロール	0.5 mL 1本
4. IgM陽性コントロール	0.5 mL 1本
5. 検体希釈液	50 mL 1本
6. 抗IgG酵素標識モノクローナル抗体	5 mL 1本
7. 抗IgM酵素標識モノクローナル抗体	5 mL 1本
8. 酵素基質(TMB)	5 mL 1本
9. 反応停止液	5 mL 1本
10. 洗浄原液(20倍濃縮液)	50 mL 1本
11. プレートシール(付属品)	3枚



株式会社 特殊免疫研究所

測定原理 リコンビナントHEV抗原と抗ヒトIgGまたはIgMモノクローナル抗体を用いた2ステップサンドイッチ法により測定



測定手順



参考文献

- 1) Mikhail S, Balayan MD : Type E Hepatitis: State of the Art. Int J Infect Dis **2** (2) : 113–120, 1997.
- 2) 高橋雅春、岡本宏明：E型肝炎のウイルス学的診断. 肝胆膵 **47** (5) : 647–656, 2003.
- 3) Mizuo H, Suzuki K, Takikawa Y, et al : Polyphyletic strains of hepatitis E virus are responsible for sporadic cases of acute hepatitis in Japan. J Clin Microbiol **40** : 3209–3218, 2002.
- 4) Takahashi M, Nishizawa T, Miyajima H, et al : Swine hepatitis E virus strains in Japan from four phylogenetic clusters comparable with those of Japanese isolates of human hepatitis E virus. J Gen Virol **84** : 851–862, 2003.
- 5) Takahashi M, Kusakai S, Mizuo H, et al : Simultaneous detection of immunoglobulin A(IgA) and IgM antibodies against hepatitis E virus(HEV) is highly specific for diagnosis of acute HEV infection. J Clin Microbiol **43** : 49–56, 2005.

製品情報

製品コード	品名	包装	貯法	有効期間
1Z23	IgG/IgM anti-HEV EIA	96テスト	2~10°C	1年間
● HEV関連試薬(体外診断用医薬品)				
製品コード	品名	包装	貯法	有効期間
1A71	イムニス IgA anti-HEV EIA	96テスト	2~10°C	1年間

製造販売元

